平成26年度 関東甲信越板金工業組合協議会青年部
第4回 部長会･幹事会 議事書

日時　：　平成26年11月9日　（日曜日）
開始　：　PM　13：30より
場所　：　三田駐健保会館　４Ｆ中会議室
議事進行：高梨副部長

1.　開会の辞　　高梨副部長

2.　出席者確認　　高梨副部長

都・県	千　葉		山　梨		長　野		茨　城		神奈川	
部長	飛留間　和紀	×	宮川　和利	×	宝　智彦	×	梅山　智広	○	早川　誠	○
幹事	※高梨　哲也	○	田中　基之	○	清水　剛	○	※村田　豊	○	萩原　武史	○
都・県	栃　木		東　京		埼　玉		新　潟		群　馬	
部長	川村　良幸	講	國松　慶誇	○	栗原　幸広	×	羽賀　満	○	井野　公輔	○
幹事	尾上　豪孝	○	森谷　尚次	○	加藤　史之	○	吉倉　進吾	○	西村　寿和	×

オブザーバー

3.部長挨拶　　村田部長

4.議事録作成人　　清水幹事
　議事録配信　　村田部長

5.議題
①全板連関連事項
　ｉ　第34回建築板金業次世代研究会in宮城について
　　日程：平成26年9月20日土曜日～21日日曜日
　　会場：宮城県仙台市　江陽グランドホテル
　　（内容についての感想、意見）
　　・講演内容は面白味がなかった
　　・震災現場の生の声は聞くことができたが、内容としては物足りなかった
　　・初日の講習会は面白くなかった
　　・同じグループメンバーの震災体験が非常にリアルで貴重な話が聞け良かった
　　・山梨の宮川部長がグループをよくまとめていた
　　・震災の話は、講習会の内容としては面白くなかった
　　→アンケートにもやや不満と書いた
　　・あの講演内容でディスカッションをするのは無理があった
　　・大切な人への手紙がすぐに届いたのには驚いた
　　→昨年までは自分あてだったが、今年は他人だったのですぐに出した
　　→連絡不足だった
　　→手間でも、裏に板金組合青年部など、送り主を書いてほしかった
　　・パネルディスカッションも内容がいまいち入ってこなかった
　　→生の声を聴けたことは良かった
　　・懇親会の席も交流している時間もなく、あれでは絆はつくれない
　　→料理も少なかった
　　・タイムスケジュールの話はよくわからなかった
　　・帰りに震災の場所を見に行ったがすごかった
　　→みんなで行けばよかったのでは？
　　・震災当初行動することに渋った人たちの意見で内容を震災にしたことについて、
　　今更といった思いがある

（運営についての感想、意見）
・参加人数にしばりがあって、参加案内が出しづらい
・親会の事業としてきているので、青年部から案内は出しづらい
　→案内は親会からくるようにして欲しい
・実質青年部が動いているのに親会事業ということで大変動きづらい
　→他のブロックでもこの辺りは暗黙の了解となっている
・親会で口を出すなら、責任をもって親会で進めていほしい
・次世代研究会は青年部主体で進めているのだから親会は任せてほしい
・親会が主体で進めたとしても、親会の発想では青年部に興味を持たれるものを作れるとは思えない
　→つまらない内容では高いお金を出して参加する人はいない
・親会事業としても、親会としてやること、青年部としてやることの線引きがほしい
　→青年部がやるべきことに親会は口を出すべきではない
・関東から二人の理事長が参加したが、地域、ブロックにより次世代については温度差がある
・今後の進め方については親会を含めてブロックとして検討していきたい
・人数制限はおかしい
　→人数制限をかけるなら開催ブロックで人数調整をしてほしい
・青年部がやりたいことに親会に文句を言われるのであれば、青年部が存在する意味はない
・競技大会もそうだが、青年部が問いかけた問題に対して、親会はきちんとした答えが出せない
　→青年部長の聞き方、相談の仕方によってはちゃんと答えが返ってくるのかもしれない
・今回、小委員会など、交通費の関係で会議不足だった
・パネルディスカッションはもともと反対だったが、親会からの指示があったらしい
　→そのときにきちんと反対をするべきだった
・千葉の理事長が参加したが、その時の感想などを関東の親会の中で話す機会がほしい

②第35回建築板金業次世代研究会in茨城について
　来年度開催にあたっての経過報告
・親会が口を出しては、青年部として非常にやりづらい
・青年部の意見が通らなければ、青年部が主体となってやる意味はない
・茨城の次世代についても、講師や内容について詰めてきていたが、これからは親会がやるようだ
　→ただし、ここまで思いがあって進めてきているので、意見はしっかり言わせてもらう
　→親会が本当にそこまでできるかは疑問
　　→次世代研究会は青年部が参加するから成り立つ
・関東の研修会でやった直徳の講演会は全国でもやりたいという想いがあった
　→３０周年のときに内密でお願いした
　→盛光の関係もあり、直徳の一社では問題とされるかもしれない

・そもそも青年部の意見が通らないのは、部長から親会に意見が上がるのではなく、
　事務局が進めてしまっていることにある
　→もともと事務局は青年部の補佐として位置づけられていたが、法人改革から事務局の力が強くなっ
　　→事務局が板挟みになっている面もある
・我々のようにこれまでやってきた人たちはいいが、これからの若い人たちが来たとき、
　活動内容がつまらないような組織は誰も参加しない
　→今度の茨城の次世代研究会も誰もやる人がいなくなってしまう
　→いま親会に次世代研究会を丸投げしたら、この事業がなくなってしまうのではないか
　　→やはり青年部が主体となってやらなければ、事業自体に意味がなくなる
　　→青年部のために青年部が考えて開催するのが次世代研究会の意味だと思う

・次の全板役員会には浅沼専務にも出席してもらい、生の声を聴いてもらいたい
・トップが考えていることが本当に正しければ問題もないが、いまは全くの的外れ
　→全国で開催するスケールメリットが全くない
　　→関東の講習会のほうがよほどいい
・茨城開催が水戸から筑波に移ったのも浅沼専務の想いだけ
　→JAXAは個人の見学レベルで次世代研究会でやることではない
・専務の意見で動くのではなく、専務が各理事長に相談して、その結果が青年部に降りてこないといけ
・いまのところ茨城の次世代研究会は親会の動向をうかがっており、青年部として動けずにいる
・年寄りの企画に青年部が参加するとは思えない
　→青年部といっても企画してきたのは経験をつんだ部員である

③関東甲信越板金工業組合協議会青年部創立30周年記念式典について
日程：平成26年10月25日土曜日　受付開始13：00　開会13：30
会場：第一ホテル両国
・本日収支報告をしたかったが、ホテルの精算ができていないので一泊講習会の時に書面で伝える
・記念誌は協賛メーカーに送る
・当日ＰＶは有料と言ったが、各都県板2枚づつ無料で配布する
・大江さんにはＨＰやＰＶなど大変ご協力を頂いているので、もともと50万で見ていた予算だが、
20万円上乗せして70万円渡したい
→今回に限らず、これまですべて無償でやってもらっている
→収支に問題もなく、全員の承認にて大江さんに70万円渡す
→ＰＶも元のデータが5時間もあった
・次の40周年に向けて
→以前神奈川で行われたあすなろ研修会のとき、出店料等で準備金をプールでき、
出店の準備金や協賛金で今回は300万ほどあった
→茨城の研修会ではプールできるお金はないが、今回の分も十分有り、40周年はとりあえず大丈夫
・記念誌の協賛企業で、タニタハウジングウェアがタニタイジングウェアになっていた
・記念誌は予定よりかなり安くできた
・ワインのラベルが記念誌のラベルのままになっており、「記念誌」が残っていた
→印刷物などはなるべく多くの人でチェックしないといけない
・時間的な関係もあり、ビュッフェがかなり余ってしまった
→仙台の時はとても少なかったので、今回は多めにした
→足りないよりはいいかもしれないが、ちょっと余りすぎた
→料理の量は参加人数の八掛けくらいでよいが、今回は人数分用意した
・もし他に気付いたことがあれば、後でいいのでご意見をください

④関東甲信越板金工業組合講議会青年部第8回会員大会in神奈川について
神奈川より
・いまのところ何も決まっていない
・神奈川といえば箱根もあるが、夜がさみしい
・日程について
→夏なら海での開催だが、宿泊場所がない
→鎌倉もあるが夜がさみしい
→毎年7月8月は何もないが夏休みは動きづらい
→秋は研修会がある
→4月24日に全板青年部の総会と周年を同時に行うのでこれまでのように6月ではない
→6月7月がちょうどいいか？
→地引網も一つの案として考える
→地引網だと二日目の朝一となる
→7月に江の島のイベントがあるので、一応7月で話を進める

・日程の関係で、4月11日を仮にブロック青年部の総会とする

⑤富士研修センター競技大会一泊講習会について
・センターには昨年と同じ流れでお願いしてある
・基本的に全員参加でお願いしたい
・現時点での各都県の参加人数確認
千葉　ZIC2名　全4名
山梨　全2名
長野　ZIC3名　全6名
茨城　ZIC1名　全3名
神奈川　ZIC1名　全3名
栃木　ZIC1名　全4名　講師
東京　ZIC2名NIAC1名　全6名
埼玉　ZIC2名　全4名
新潟　ZIC2名NIAC2名　全5名
群馬　ZIC1名　全3名
・費用は施設へ１０万、一人2500円
→各都県、人数に関わらず費用を決める
→とにかく設営ができなくなってしまうので、費用を計算して各都県の負担金、参加費を計算する
→参加費に関しては部長に一任する
・案内には必ず期限が書いてあるので、提出日を必ず守ってください
・田中幹事は、材料など残っているものの数量を出してください
・銅板の販売はとりあえず考えず、講習会の分だけ考える
→ハンダなども人数分だけ用意する
・直徳さんに選手のリストを渡し、その人が来たときは底値で道具を売ってもらう

⑥其の他

部長幹事打ち上げ旅行について
・12日までに人数だけは伝える
・今回はゴルフ組もいるので、ゴルフに行かない人は直接熱海へお願いします
　→いつものように新宿や東京から集まって行動するようなことはしません

勉強会
大江さんより関東甲信越のＨＰの説明
・フェイスブックは全員やってほしい
・ツィッターのアカウントがある人は教えてください

・これからはこのＨＰを必ずチェックしてください
・グーグルカレンダーを利用する
・ＨＰの管理は東京の國松さんにお願いする
　→使い慣れるまで、当面、部長、副部長、國松さんで管理していく

次回　部長会・幹事会予定
平成27年1月11日（日）